

平成24年度「越谷市放課後子ども教室」アンケート（指導員用）

設 問	合計	割合
Q1. 本事業を始めたきっかけは何ですか？		
1. 知人・友人に誘われて	52	46.8%
2. 広報を見て	5	4.5%
3. ボランティア募集のちらしを見て	9	8.2%
4. ホームページを見て	3	2.7%
5. 子どもが教室に参加しているから	13	11.7%
6. 所属団体から依頼された	26	23.4%
7. その他	3	2.7%
Q2. 毎月の参加回数は適正ですか？		
1. 無理なく続けられる	82	87.2%
2. 無理がある	12	12.8%
月1回ならば無理なく続けられる	6	
月2回ならば無理なく続けられる	2	
月3回ならば無理なく続けられる	0	
月4回ならば無理なく続けられる	0	
月5回ならば無理なく続けられる	0	
月6回ならば無理なく続けられる	0	
Q3. やりがいは感じられますか？		
1. 感じられる ・外で子ども達とあった時、笑顔で挨拶をしてくれた。 ・会話を通して心が触れ合えた時。 ・子どもたちが新しいことに一生懸命挑戦している時。	97	90.7%
2. 感じられない ・参加者の親の様子がわからない。	4	3.7%
3. わからない	6	5.6%
Q4. 本事業に参加したことによって、ご自身の気持ちや暮らし方などにどのような変化がありましたか？（複数回答可）		
1. 地域の子どもの声をかけるようになった	45	31.7%
2. 地域の学校や子どもの集まる施設に意識や関心が高くなった	56	39.4%
3. 町会や自治会などの活動に積極的に参加するようになった	7	4.9%
4. 地域の人に「子ども教室」への参加を呼びかけた	13	9.2%
5. 特に変化はない	18	12.7%
6. その他 ・子どもから声をかけられ話をすることもある。	3	2.1%
Q5. 本事業に参加したことによって、ご自身にプラスになったことは何ですか？（複数回答可）		
1. 子どもたちとふれあうことによって、生きがいを感じる（元気になった）	59	34.7%
2. 活動を通して自分の人間関係が広がった	58	34.1%
3. 子どもたちの成長に役立つことができた喜びを感じる	35	20.6%
4. 学校に対する理解が深まった	15	8.8%
5. その他 ・自分の気持ちが豊かになったようだ。	3	1.8%
Q6. 指導員やボランティアを増やすためには、どのようなことをすればよいと思いますか また、保護者の参加協力を増やすためには、どのようなことをすればよいと思いますか。ご意見・ご要望等ございましたらお書きください。		
・若いお母さんに声をかけたい		
Q7. 指導員さんにお聞きします。コーディネーターとして活動してみてもいいと思いますか？		
1. 活動を考えてもいい	10	11.5%
2. 期間限定なら活動してみたい	2	2.3%
3. とりあえず活動内容を聞いた上で考えたい	12	13.8%
4. 今のところ考えていない	63	72.4%
Q8. Q7で「4 今のところ考えていない」と答えた方、理由をお聞かせください。（複数回答可）		
1. 子どもが参加しやすい企画の立案・調整が困難	19	16.8%
2. 指導員との連絡調整が大変	6	5.3%
3. 関係機関との連携が困難	8	7.1%
4. 保護者とのコミュニケーションが大変	5	4.5%
5. けが・事故への対応能力、実践技術が不安	11	9.7%
6. 時間に余裕がない	45	39.8%
7. 謝礼金が少ない	0	0.0%
8. 一人では不安	13	11.5%
9. その他 下の子が小さいため、高齢のため	6	5.3%
Q9. 子どもや保護者と接していて、驚いたことや嫌な思いをしたことがありますか？		
1. ある	26	27.4%
2. ない	69	72.6%
・大人に対する言葉づかいが良くない子がいることに驚いた。		
Q10. 自分の地域の子どもに対する意識や関心は高くなりましたか？		
1. 高くなった	69	72.6%
2. 変わらない	26	27.4%
3. 低くなった	0	0.0%
Q11. 学校外で子どもから声を掛けられたりすることが増えましたか？		
1. 増えた	52	55.3%
2. 変わらない	42	44.7%
3. 減った	0	0.0%
Q12. 子ども達に変化はみられましたか？		
1. 変化があった	49	55.1%
2. 変わらない	40	44.9%
変化があった（具体的に） ・初めは自分から輪の中へ入っていきなかつた児童が、学年を越えて楽しそうに活動できるようになった。 ・異学年との交流ができた。 ・1年生に向上が見られる。 ・私に対して興味を示して話しかけてくる。 ・遠慮気味だった子ども打ち解けて、本音で話してくれるようになり距離が縮まった気がする。 ・会うと嬉しそうな顔をしてくれる。 ・どの子どももコミュニケーションが取れると、笑顔が増え楽しそうなのが伝わってくる。 ・静かだった子どもが明るくなり、コミュニケーション能力が高まり積極的になった。		
Q13. 指導員研修でどのような内容を取り上げてほしいですか？		
1. 発達障がいについて	30	16.3%
2. レクリエーションについて	40	21.7%
3. 工作について	29	15.8%
4. PC操作について	4	2.2%
5. 救急救命（AED）について	18	9.8%
6. 応急手当法について	31	16.8%
7. 安全管理について	29	15.8%
8. その他	3	1.6%
Q14. 今後もボランティアを続けていこうと思いますか？		
1. 思う	88	92.6%
2. 思わない ・意欲がない	7	7.4%
Q15. 継続して活動するためには、どのような支援が必要だと思いますか？		
<ul style="list-style-type: none"> 指導員の確保 ボランティア同士のコミュニケーション 子どもたちを取り巻く状況についての情報交換 保護者の協力 子ども全体でも活動できる物をもう少し増やしたらどうか 安全管理、事業内容の知識 市役所の支援をお願いしたい 子どもを預ける場所ではなく、親子で参加して子ども達の成長を見守る場所としての周知、募集の仕方をする 子どもの安全性 家族の理解、協力 国や県が必要を感じて援助してくれることが必要 謝礼を増やす 活動資金と宣伝 		
Q16. 本事業に取り組んでみて、どんな感想を持ちましたか。（何かプラスになったこと、思っていたものと違っていたこと等）ご意見・ご要望等ございましたら、お書きください		
<ul style="list-style-type: none"> 月に1回参加するしかないのですが、子どもたちと接する時間を持つことによって、心がリフレッシュされるような気がする 子どもたちの行事に目が行くようになった 子どもたちにとって、親や先生以外の大人と関わるができることが良いと思った 子どもたちはのびのびと教室で過ごしている。異学年でも楽しく教えたり、話したりして、暖かい雰囲気だと思う 今の親子を見ていると挨拶が出来ない等の不安な面もあるが、笑顔が嬉しい時もある。 家庭や学校で出来ないことが体験でき、個性も伸ばせる 今の小学校がどんな感じかわかった 子ども達の素の姿が見え、子ども同士の関わり方などを間近で見られて接することができる空間だと感じています 子ども達と接することでエネルギーがもらえ、生きがいのひとつになっている。 自分の気持ちが和やかになり、怒ることが少なくなった。子育て中より子ども達を見るようになった 子どもの成長が楽しみ・会場や時間に制約があり思い通りにいかないこともあるが、子どものことを考えると続けていきたい。 いろいろな子ども達と接していると楽しく、張り合いがある。 		
年齢		
10代	0	0.0%
20代	8	7.8%
30代	8	7.8%
40代	34	33.3%
50代	22	21.7%
60代	17	16.7%
70代以上	13	12.7%
性別		
女	91	87.5%
男	13	12.5%